


提出 順番	No. 6	平成 27 年 11 月 25 日 午前・午後 0 時 20 分受領
----------	----------	---------------------------------------

平成 27 年 11 月 25 日

幕別町議会議長 芳滝 仁 様

幕別町議会議員 藤谷 謹 至 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 合併 10 年後の幕別町における財政運営について</p>	<p>平成 11 年当時 3, 232 あった市町村が、平成の大合併により 1, 718 に統合された。合併に踏み切った市町村の多くは行政運営の効率化、広域化によるスケールメリット等を熟慮し、様々な痛みを伴うことも覚悟の上で合併という道を選択したと推察する。市町村にとって特に影響が大きかったのは、政府（旧自治省、現総務省）による合併特例債を中心とした手厚い財政支援と、同時期に進行した三位一体改革による地方交付税の大幅な削減であった。</p> <p>本町においても来年 2 月をもって幕別町と忠類村が合併して 10 年を迎える。この間、最大で 238 億円あった一般会計における債務残高は岡田前町長による堅実な財政運営により年々減少し、平成 26 年度決算においては 168 億に減少。実質公債費比率においても地方債の許可団体となる条件の 18% を下回り 14.3% までに改善したが、依然十勝管内トップの現状にある。さらに、合併算定替による交付税の恩恵は今後徐々に減額され、平成 33 年度をもって新町一本算定されることになる。</p> <p>飯田町長になって初となる平成 28 年度の予算編成では、札内福祉センター、新庁舎を含め 20 億の起債を予定し、地方交付税は前年度 2.1% 減の 59 億 8,800 万円と見ていると報道された。今後の人口減、高齢化、施設等の老朽化、挙げればきりが無い負のイメージが多</p>

い地方財政において本町の財政運営について伺う。

- 1 平成26年度決算で一般会計の地方債残高は168億8千万円であったが、特別会計における未償還額の状況と今後の見込みは。また、昨今の景気低迷により土地開発公社の保有する土地の売買が思うように進んでいないものと思うが、今後の町としての関わりについて。
- 2 帯広市近郊3町が平成28年度予算編成に着手との報道がされた。音更町は全ての事務事業をゼロベースとし、旅費・消耗品を削減、芽室町では財源不足に対し事業のランク付けをし、優先順位の整理等の緊縮財政が読み取れる。本町の事業の見直し、削減等の考えは。
- 3 合併算定替によって得られた地方交付税の優遇処置は今後段階的に減額され、平成33年度からは新町1本算定になるが、今後の財政運営について。
- 4 人口減少・少子高齢化が進展する中、安定した財政運営をしていくための行財政の効率化が重要であるが、同時に新たな財源確保の取り組みや民間資金の活用などの資金調達の多様化を進めていく考えは。併せて、町民にわかりやすい財政状況を示していくことも必要ではないか。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。